

明石市 正規職員

福祉職

やさしい社会を
明石から

2023年
4月採用

募集

募集人数 5人程度 フルタイム勤務の正規職員(週5日×7時間45分)

募集期間 2022年8月15日(月)～~~9月26日(月)~~9月30日(金)

次のいずれかの資格を持つ59歳以下(1963年4月2日以降生まれ)の方を募集します

社会福祉士

精神保健福祉士

手話通訳士

公認心理師

臨床心理士

※詳細は試験案内をご確認ください。

さらなる市民サービスの向上のため、あなたの知識、経験、能力を明石市で発揮してみませんか。



あなたとともに、支援が必要な人に
“必要な支援”を届けたい!

申し込みは
WEBで

明石市 採用 検索



明石市がおススメな
3つの理由

1 市民に一番近いところで
他の専門職や行政職と連携し、
アウトリーチを積極的に行っています。

2 全国に先駆けた施策を
全国初の取り組みを進める中心的役割を
果たしています。

3 幅広い部署で
政策・福祉・教育部門など幅広い部署に
配属されます。

お問い合わせ

明石市総務局職員室職員担当

〒673-8686 兵庫県明石市中崎 1-5-1

TEL 078-918-5006 ✉ jinji@city.akashi.lg.jp

障害者

全国の自治体のモデルになっています

誰もが暮らしやすいまちを目指して

障害のある人が暮らしやすい環境をつくることは行政の責任。明石市では、障害当事者と一しょにまちづくりに取り組んでいます。



「手話言語・障害者コミュニケーション条例」制定

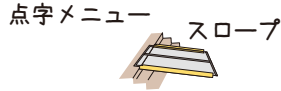
手話言語のみに特化せず、点字や音訳など障害のある人となない人の幅広いコミュニケーション手段の促進について定めた条例を全国で初めて制定しました。

- 手話
- 要約筆記
- 点字
- 音訳



合理的配慮の提供を支援する助成制度を創設

筆談ボード 400以上の
お店に設置済



あかしインクルーシブ条例

「誰一人取り残すことなく助け合うまちづくり」を進めていくための条例です。

いつまでも

みんなで

すべての人に

やさしいまち

高齢者

高齢化が進む中、安心して生活ができるよう司法や地域などと連携して取り組みを進めています。

住み慣れたまちで安心して暮らすために

認知症あんしんプロジェクト



「本人の尊厳の確保」「家族負担の軽減」「地域の理解の促進」を3つの柱に支援を行っています。

ひとり暮らし高齢者のための「みんなの給食」

権利養護の取り組み

高齢者虐待の防止、対応、成年後見制度の普及促進。



子ども こどもを核としたまちづくり

「すべての子どもを地域みんなで応援する」という考えのもと、子ども1人ひとりに寄り添い、子どもの目線で総合的な取り組みを進めています。



離婚前後の子どもの育ちを応援



あかし里親 100% プロジェクト進行中

こども食堂 全小学校区に開設

支援の拠点に

児童相談所 (明石子どもセンター)

JR 駅前すぐ開設。常勤弁護士や専門職員を複数配置。



広がる活躍の場



ありのままがあたりまえのまちへ LGBTQ+



専門職員の採用

パートナーシップ・ファミリーシップ制度導入

学校や地域団体への研修

性的少数者(LGBTQ+)を含む誰もが自分らしく生き、お互いを認め合えるまちの実現に向けて取り組んでいます。

先輩からのメッセージ

精神保健福祉士・社会福祉士

河野 康政

あかし保健所 相談支援課 係長

▶現在担当している仕事とやりがいは？

精神科クリニックで相談員の勤務を経て、入庁しました。これまでの経験や、培ってきた関係者などとのネットワークを活かし、自殺予防などの精神保健に取り組んでいます。また、課員がかかわっているケースへの助言や指導、さらには一緒に支援を行うなどしています。

明石市職員は、市民の個々の困り事に対応していくのはもちろん、個々の困り事を市民全体の課題として考え、施策立案等に関わっていくことができるダイナミックな環境で働いています。

市職員には多種多様かつ柔軟な思考を持ち、常に前向きに自分自身をバージョンアップしていく力が求められます。「我こそは!」と思うみなさん、明石市というフィールドに新しい風を吹き込んでください。



先輩からのメッセージ

社会福祉士

福森 亜季

地域共生社会室 地域総合支援担当 福祉職員

▶現在担当している仕事とやりがいは？

地域共生社会室では、市内6か所にある地域総合支援センターと協働し、高齢者の介護・フレイル予防に関する事業をはじめ、広く地域福祉に関連する業務を行っています。

業務の中で、多様な職種で意見交換をする機会も多くあるので、日頃から、自分だけの考えに縛られず、広い視野をもって市民目線で考えること、福祉職と行政職の両方の視点を持つことを意識しています。

明石市では、入庁年数が浅い職員に対する研修体制が充実していますし、先輩職員の心強いサポートもあります。「行政で働く福祉職」ならではの楽しさがきっと見つかるはず。ぜひ、新たな視点を持ったあなたのご応募をお待ちしています。

